朝日新聞　2009年9月3日

反対運動の人ら 制度廃止を訴え

ビラ配りも

青森地裁前ではこの日、全国から集まった「裁判員制度はいらない！大運動」の支持者ら約15人が裁判員制度の廃止を訴えた。午前8時から開廷までの約2時間、「罰則規定をかさに、市民に負担ばかり押しつける制度はいらない」と、スピーカーで声を上げた。

同運動はこれまで、裁判員裁判が行われた東京、さいたまの各地裁でも制度の廃止を呼びかけてきた。

マスコットの「裁判員いらないインコ」も登場。「ストップ！裁判員制度」の横断幕を背に、通行人らにイラスト付きのビラを配った。運動の呼びかけ人の高山俊吉弁護士は「市民参加の名を借りた動員。好奇の目にさらされる被害者、人を裁く苦痛を強いられる裁判員など、皆がつらい思いをしている」と訴えた。

マスコットの「裁判員いらないインコ」も登場し、裁判員制度の廃止を訴えた